

生徒指導

部

重点
目標

基本的な生活習慣の確立

指導の重点		取り組みの結果	学校の自己評価と改善策	学校関係者評価委員より
内容	○時と場に応じたあいさつ・礼儀・服装・身なりなどの定着	アンケート(保護者) 【お子さんは、あいさつや返事、言葉遣い等よくできている。】3. 2	○児童生徒は決まりを守ろうと日々努力している。	○なぜ、きちんとしたあいさつや身だしなみが必要か(基本)をまず教えることが必要だと思う。 ○地域へのあいさつが少しずつできるようになってきた。さらに「自分から進んで大きな声で」できるようになってほしい。 ○学校だけでなく日常生活の中でできるかが大切。 ○あいさつは自発的に意識しなくてもできることができが本当の姿と思いますが、「しよう」と思う気持ちを表すだけでもあいさつの心につながると思います。 ○継続指導をお願いします。
	○4月に礼法指導、敬語指導、服装・容儀に関するルールの確認を行う。 ○児童生徒会を中心に、児童生徒が自らの行動を振り返る場面を設定する。	○それぞれの行事の反省→見届けまではできているが、それを児童生徒に還元できていないのではないか。	○時と場に応じた振る舞いなど、どうすべきかを具体的に教える必要がある。	
内容	○児童生徒会活動・学校行事等の充実による、主体的な態度の育成		○「東郷ブランドの育成」として、ドリームタイムを設定できた。	○「東郷ブランド」とはどういう児童生徒を目指すのか分からぬ。生徒会の活動は頑張っているように感じる。 ○自分をきちんと表現できる子どもの育成がリーダーを育てることにつながるを考える。 ○「東郷学園ならでは」の活動をするためには児童生徒の自発的主体的な取り組みができる土作りが大切と思う。
	○児童生徒集会を通じて、多くの児童生徒に発表・表現の場を設ける。 ○ブロック集会を充実させ、リーダー育成を図る。 ○東郷学園ならではの活動として、朝の短歌朗詠を更に充実させる。	○集会の移動については、クラス単位で確実に行うことの徹底がなされていない。 ○東郷ブランドの意識付けを行う。	○委員会を中心に主体的な活動が増えてきた。 ○教師間の共通理解を確実に行うことが必要である。	
内容	○清掃指導(無言、一所懸命、気づきの清掃)の充実	アンケート(児童生徒) 【熱心に掃除に取り組んでいる。】3. 6	○無言・気づきの清掃が根付いている。	○隅々のホコリもあまりなく、意識の向上を感じます。よくなつたと思います。 ○清掃は、家庭での自分の役割などから発展して学校で取り組む場面もあるかと思う。「なぜ掃除をするのか」などの取り組みの意味を考えることも大事かと思う。 ○家庭で整理整頓ができる子は、学校でも十分できると思う。
	○児童生徒会、生活整美委員会を中心、清掃集会を充実させていく。 ○郷育の観点からも、縦割りの清掃集会を行うなどして、上級生に自覚を持たせる。	アンケート(保護者) 【お子さんは家の掃除や手伝いに取り組んでいる。】2. 6	○心の育成とからめて、清掃活動に取り組む意義にもふれる必要がある。 ○教師間で、清掃の仕方について共通理解をさらに深める必要がある。	